

Nimako-tsushi N10

島根県立瀬摩高等学校の毎月の情報をお届け 瀬摩高通信

October.2016

Topic

二年生 インターンシップ



十月十二日(火)から十月十四日(金)の三日間、瀬摩高校の二年生が色々な企業インターンシップに出発しました。二年生は七月からインターンシップに向けての学習が始まり、企業へのアポイントメントの電話からお礼状まで、すべてを自分達生徒の手で行いました。インターンシップ前日には激励会があり、校長先生をはじめとする多くの先生方に激励の言葉をもらって、緊張ながらも元気に出発していきま

した。インターンシップ初日から生徒は、事務的なお仕事から受付、商品出しや補助スタッフなど様々な形で活躍をしました。朝から夕方まで現場でしっかりと体験学習した生徒は「大変だった...」や「楽しかったけれど、働くのは疲れました」と働くことの大変さを体験したようでした。来月に開催をする文化祭では「インターンシップ報告」を展示しますので、生徒たちの成長した姿を是非見に来てくださ

Topic

神楽同好会 結成



十月四日(火)瀬摩高校に新たな同好会が結成しました。その名も「神楽同好会」！このたび石見地方の伝統芸能が同好会になった経緯は、去年の瀬摩高ウィンターフェアで上演した石見神楽を、校内のみ活動で終わらせるのではなく校外でも「神楽同好会」という名前を掲げて活動を広げていきたい、と生徒達からの強い志望がありめでたく結成に至りました。三年生 野木拓真(大田西)君は「一からきちんと練習して沢山の人の見てもらいたいと思って結成しました。今度のフェアも是非見に来てください！」と語っています。今年のウィンターフェアは十二月二十三日(金)です。神楽同好会の勇姿を是非見に来てください。

つぶやき 三島校長の



今月は瀬摩高校にとって節目の月となります。島根県でも珍しい二期制をとる本校では、前期終業式と後期始業式が執り行われました。これまでの教育活動を振り返り、成果と課題をそれぞれ確認することができました。そのような中、生徒の熱意で「神楽同好会」が新たに発足しました。島根が誇る神楽文化が根付くここ大田市で。承者として若人が瀬摩高校で、この文化を大切にしたいと思うことは、誠に尊いものであります。ウィンターフェア(銀の哲学)で神楽を舞う生徒の勇姿に期待ください。

Column

そろそろ色づく「こうよう」の季節

毎年十月の終わりにから十一月の初めにかけて、山の色が赤や橙、黄色など美しい色に移りていきます。この現象、漢字で表すと「紅葉」と「黄葉」の二つが存在するのです。漢字に表せば何となく赤く色づく葉が「紅葉」、黄色く色づく葉が「黄葉」と分けられませんが、葉が何色に色づくかは植物によって決まっています。メープルの原料になるカエデ科やナナカマド科は「紅葉」、銀杏を实らせるイチョウやブナ科は「黄葉」となります。多少例外はありますが簡単に分類するとこのようになります。今年の三瓶山は十月下旬からが見頃だそうです。「紅葉」と「黄葉」を少し気にかけて歩いてみると面白いかもしれません。